

新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会（第7回）議事要旨

1 日 時 平成22年5月12日（水）16：30～18：00

2 場 所 総理官邸2階小ホール

3 出席者

（座長代理）

白 石 隆 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 所長

（委 員）

岩 間 陽 子 政策研究大学院大学 教授

中 西 寛 京都大学大学院法学研究科 教授

松 田 康 博 東京大学東洋文化研究所 准教授

（専門委員）

伊 藤 康 成 三井住友海上火災保険株式会社 顧問

（元防衛事務次官）

加 藤 良 三 日本プロフェッショナル野球組織 コミッショナー

（前駐米大使）

齋 藤 隆 株式会社日立製作所 特別顧問

（前防衛省統合幕僚長）

（政府側）

伊 藤 哲 朗 内閣危機管理監

西 川 徹 矢 内閣官房副長官補

河 相 周 夫 内閣官房副長官補

植 松 信 一 内閣情報官

阪 本 泰 男 内閣審議官

高 橋 清 孝 内閣審議官

徳 地 秀 士 防衛省運用企画局長

4 議事概要

(1) 政府側説明

内閣官房から「情報と情報保全」及び「情報セキュリティ政策の概要」について説明があり、続いて、防衛省から「防衛省・自衛隊におけるサイバー攻撃対処」について説明。

(2) 意見交換

政府側からの説明後、情報と情報保全及びサイバー攻撃対処について意見を交換。その主なものは以下のとおり。

(情報の保全について)

- 情報の保全については、保全のみではなく、文書への記録、保存、将来的な開示を含めて、トータルで考えていく必要があるのではないか。

(情報収集機能の強化について)

- 情報収集機能の強化は重要であるが、特に、対外的情報収集が重要ではないか。

(情報と政策との接続について)

- 政府の意思決定において情報をいかに活用するかという観点からすると、官邸の政策部門と情報部門の接続がきわめて重要であり、政策部門から情報部門へ情報ニーズを明確に示した上で、インテリジェンス・サイクルを回していくことが重要である。中長期的な情勢分析等についてはインテリジェンス・サイクルがうまく機能しているようだが、次々と事象が変化するような場合にも十分機能するよう努力してもらいたい。

(サイバーセキュリティの国際的連携について)

- サイバーセキュリティの分野では、国際的な連携や協調が必要になってきており、また、国内的にも国際的にも官民の協力が必要ではないか。

(ネットワークの防護について)

- 重要インフラ等のネットワークについては、サイバー攻撃から電子的に防護されているだけではなく、回線の切断といった物理的攻撃からも防護されていることも重要ではないか。